

2025 東北大学オープンキャンパスツアー報告

期 間 令和7年7月29日(火)～30日(水) 1泊2日

宿 泊 相鉄フレッサイн 仙台（宮城県仙台市青葉区中央4-4-5） 仙台駅徒歩4分
<https://sotetsu-hotels.com/fresa-inn/sendai/>

日 程	7月29日(火)	7月30日(水)
	7:00 学校 集合・出発（バス配車 6:40）	6:00 起床 準備（各自朝食）
	↓	7:30 ～ 8:00 チェックアウト
	↓バス 途中 SA で各自昼食	↓地下鉄等で移動
	↓	8:30 ～ 9:30 東北大学 到着
	14:00 震災遺構 大川小学校 到着	志望学部学科で見学（各自昼食）
	語り部：佐藤敏郎さん	↓地下鉄等で移動
	17:20 大川小学校 出発	15:00 仙台駅 集合・出発
	↓バス	↓バス
	16:50 ホテル 到着・解散	20:00 おおたバスターミナル到着 解散
	仙台駅周辺で各自夕食	↓バス
	21:30 ホテル点呼	20:20 学校到着 解散
	22:30 就寝	

仙台駅周辺



ホテル相鉄フレッサイン仙台（仙台駅直結 PARCO 裏）



・ 駅から近く移動や食事、買い物等に便利でした。全室シングルルームを利用し綺麗で素敵なホテルでした。

震災学習

「大川伝承の会」代表の佐藤敏郎さんが案内をしてくれました。大川小学校では東日本大震災による津波で児童 74 名人（うち 4 名は現在も行方不明）、教職員 10 名の合わせて 84 名が犠牲になりました。助かったのは児童 4 名と教員 1 名だけでした。佐藤さんは震災で当時大川小学校 6 年生の娘さんを亡くされました。その日のことや、あれから 14 年間の思いをお話してくださいました。特に「救えた命と救えなかった命について」や、大川小学校は「未来を拓く」場所なんだと強調していました。実際に現地の様子を見ながら貴重なお話が聞けたことはとてもよい経験になったと感じています。

【石巻市震災遺構大川小学校】

<https://www.ishinomakiikou.net/okawa/>



【大川小学校ガイド：これまで、ここから～大川小学校のこと】

https://korekoko.blogspot.com/p/blog-page_21.html



【小さな命の意味を考える 第2集宮城県石巻市立大川小学校から未来へ（冊子）】

https://storage2.smart-supply.org/static/chiisana_inochi2024_0220_web.pdf



震災遺構大川小学校





食事いろいろ





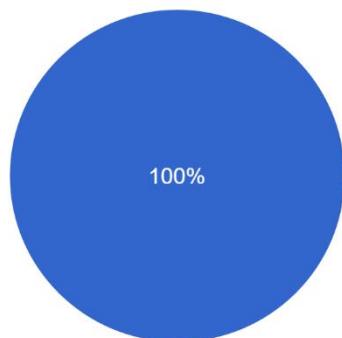


本校卒業生が学内を案内してくれました

アンケート結果

大川小学校での研修について

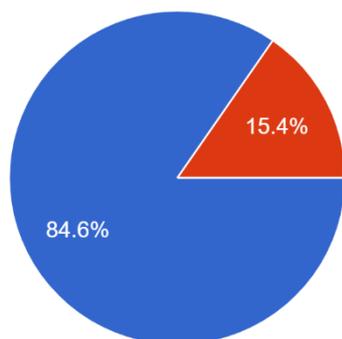
39件の回答



- 良かった
- やや良かった
- やや良くなかった
- 良くなかった

東北大学オープンキャンパスについて

39件の回答



- 良かった
- やや良かった
- やや良くなかった
- 良くなかった



※ 次頁以降の感想は生徒が入力した文章になります。修正等していないので多少読みづらい部分もありますがご了承ください。

【大川小学校での研修に参加して感じたことを記入してください】

- ・防災というのがいかに大切かがよくわかる研修でした。また、事前に起きた時にどうするかを話し合うことや、自分から命を守る行動をすることがとても大切だと思いました。
- ・普段からの避難訓練がもしものときに生きてくることがわかった。防災についてよく知ることができた。
- ・大震災による被害は残酷だった、悲惨だったで終わるのではなく、どのようにしていたら被害を防げていたのか、これからどうするべきなのかを「決め」、辛くても考え続けなければならないなと思いました。群馬は津波がこないから大丈夫と思っていましたがそうではなく自分の地域で起こり得る事や日頃から学校で行っている避難訓練を大切にしたいと思いました。
- ・未来を拓く学校であることをたくさんの人に教えたいと思った
- ・初めて被災地を実際に訪れて、崩れた校舎や変形した橋をみて津波の威力を感じた。
- ・ただ単に、怖いと思いました。予測できない自然現象によって、人々の当たり前であった生活が壊されることがとても信じられないです。大川小学校で、生徒全員が広場に集合していた時、恐怖で動けなくなる子、必死に逃げようと先生に訴えかける子、自分の不安な気持ちを抑え友達や下級生を励ます子、色々な生徒がいたと思います。もし自分が生徒だとしたらどうしてただろうか？どうしたらその子たちを救うことが出来ただろうか？と、当時1歳の自分に何かができる訳でもないけど、その時に何も出来なかった後悔のような気持ちを感じます。でもきっと、大川小学校の先生たちは、私とは比べ物にならないくらい、もっと大きな後悔を感じたと思います。津波が目の前に来た時、もう1度チャンスをください、と神様に願ったと思います。私はその先生たちが後悔したことを繰り返さないようにしたいです。
- ・ガイドさんのお話を聞くまでは、当時の状況を上手く想像できず、どこか自分の暮らしと切り離して考えていたと思います。しかし、ガイドさんのお話を通して、今当たり前だと思って過ごしている日々が実はかけがえのないものであること、災害は突然起こるので普段からの備えが重要であることが分かりました。当たり前のように「行ってきます」と言った娘の「ただいま」という声を聞くことのできない悲しみや悔しさは、体験していない私の想像をはるかに上回るものだと思います。今回のキーワードとなった「未来を拓く」という言葉を胸に、何かを実行することは難しくても、後世に語り継いで行きたいです。
- ・東日本大震災の被害と、津波の恐ろしさ、防災の大切さを肌で感じる事が出来ました。東日本大震災をただの悲劇として受け止めるだけでなく、同じ過ちを犯さないためにも日々の生き方を見直そうと思えたいいきっかけになりました。本当にありがとうございました。
- ・第一に、災害が起こっていない時に備え考え、準備をしておくが大切だと思いました。自分の命や大切な人たちの命を守るために日頃からの意識を変える必要があると思いました。今、自分が安全だからと言って他人事のように考えるのではなく、自分のこととして考えることが大切だと感じました。また、ツアー2日目に津波注意報が出され、大川小学校の事を思い出しました。警報が出された時私は地下鉄にいたので海からは距離がありましたが凄く不安な気持ちになりました。当時水の近くにいた子供達はそれよりもっと怖く不安な気持ちになったことが想像できました。大川小学校は津波や災害の恐ろしさを私たちに伝え、災害について改めて考えさせてくれる、「未来を拓く」学校だと思いました。貴重なお話が聞けてよかったです。
- ・なぜ私たちが「日頃から災害の備えをし、避難場所を確認する必要がある」と言われている必要が改めてわかりました。災害とは命を奪うだけでなく、何事もない、平穏な当たり前の日常をも奪っていく、何よりも恐ろしいものだと痛感した。もう2度と同じ過ちを繰り返さないよう、災害が起こる前から「どこに避難するのか」「そもそも避難をするのか」ということを話し合い、災害時にその2つのポイントを活用し、しっかり「逃げろ」という判断ができるようになりたいです。
- ・群馬にいと津波について考えたりすることがなく、危機感もなかったけど、話を聞いて、普段から防災意識を持って行動することが大切だと思った。私たちも東日本大震災を経験しているので、後の世代に伝えていく必要があると感じた。

- ・被災した方、遺族の方ではないと分からないような緊迫感や辛さが感じられて、震災についてもっと身近に考えたいと思うきっかけになりました。
- ・今生きていて夢を持っていることはすごい奇跡だということ。
- ・東日本大地震のときの記憶がないため、どこか他人事を感じていたが、この出来事は全ての日本人が知っておくべきことだと感じた。災害を舐めてはいけなかったと感じた。災害で亡くなってしまう人を減らすために、私も防災意識をしっかりと持って生きていきたい。
- ・大川小学校のガラスが割れていたり太い柱が折れているのを見て、津波の威力は想像の何倍も大きいものだったことを実感しました。語り部の方の「娘の方が皆さんより年上だったのに今は逆転してしまった」という言葉から多くの子どもたちが犠牲になったこと、震災から長い月日が過ぎたことが伝わりました。これから東日本大震災を知らない人が増えていくけれど、辛く悲しい出来事だからという理由で震災の被害から目を背けてはいけなし、自分にできることを考えようと思いました。
- ・被災地に初めて行ったので、すごく衝撃を受けた。身長をはるかにこえる津波がきたことが小学校を見てすぐに分かった。ここで何人もの小学生が亡くなったことに胸が苦しくなった。津波がくるまでの約50分間、先生達は大きな選択に迫られ、小学生は焦りと恐怖でとても苦しかったと思った。大川小学校は「未来をひらく」学校ということのを忘れないでいようと思った。
- ・私は災害を経験したことはないしニュースで見てもどこか他人事だったけど今回話を聞いて考え方が変わるきっかけになった。今回の話は災害だけでなく活かせるところがあると思った。今回の話を聞いて、日常を大切にしたいと思ったし気持ちだけでなく行動にも移したいと思った。
- ・津波が身近ではないため、今までどこか他人事として考えていた部分がありました。しかし、大川小学校訪問を通して、津波の対策を事前しておくことの重要性を学び、命の大切さを再認識しました。つらい過去から目を背けるのではなく、これからの未来に活かすために震災のことを伝えてくださっている方々に勇気もらいました。
- ・自然災害の怖さ、防災意識の重要さを感じました
- ・災害を常に自分ごととして捉えできる限りの対策や訓練を日頃から行うことの大切さを感じた
- ・事前の対策を念入りにやっておくことが何より大切だということ。被災地を悲しい場所だけだととらえず、未来を開く場所だと前向きに考えることが、この被害をしっかりと伝えていく上で大切なことだと学んだ。
- ・緊急事態のときは自分で考えて行動することも大切
- ・実際に被災した時の様子を知ることができ、この出来事を風化させてはいけないなと思った。もしものことを考えていち早く避難することが大切だとわかった。
- ・被災した人たちのことをよく理解するためには、被災した人を自分に置き換えて考えることが大切だと学んだ。また、災害の恐ろしさや防災の大切さを何らかの形で残して伝えていて、紡いでいく想いを強く感じた。大川小学校は『未来を拓く学校』なのだと思えた。
- ・東日本大震災については、まだ自分も幼かったこともあり主にインターネットで写真や動画を見て知るだけだったので、心のどこかで他人事だと感じている自分もいました。しかし、実際に被災地を訪れて語り部さんのお話を聞くことで学ぶことが沢山あったし、大川小学校をただの悲劇の場所として考えていてはいけないことに気づかされました。そしてこのつらい出来事から目を背けずに、後の世代に語り継ごうとする語り部さんの姿を見て、感銘を受けたし自分も少しでも力になりたいと感じるようになりました。「大川小学校は、未来をひらく場所なんだ」と胸を張って言えるようになりたいです。
- ・群馬にいてあまり大きい地震や災害が来ないこともあって、避難の仕方や場所について家族と話したりすることもなかったので、今から考えて話し合うことが大切だと学びました。起きたことはもう変えられないからこそ今生きている私たちが過去の経験を活かして防災の備えをしていきたいと思いました。
- ・実際に来た津波の高さがわかった。事前にどこへ逃げるのか決めておくことが大切だと思った。

- ・津波や地震の恐ろしさについて改めて知る事が出来て良かったし、いつ起こるかわからない状況のためにとれだけ避難訓練が大事なのかがわかりました。何より救えたかもしれない命があって、話をしてくれたガイドさんの娘さんが小学校に通っているいろんな思いがあったはずなのに、今こうしてその時の状況をあまり知らない私たちに受け継いでくれることがすごいと思うし感謝の気持ちでいっぱいだなと思います。私は最初ガイドさんの話を聞いたとき「どうして先生は山に行った子どもたちを引き戻したんだろう」とか「もっと早く行動してればよかったのに」とか先生を責める気持ちがありました。でもガイドさんの「子どもたちを救いたくない先生はいない」という言葉を聞いて、大きい揺れが来て津波が来ると知って怖がらずに冷静に行動に移せる人なんてあまりいないに決まってるし、自分が死ぬかもしれない状況の中で、小学生の子どもたちも守らなきゃいけないといけなくて、小学1年生から小学6年生まで幅広いからまとめるのも大変でこんな状況の中先生のことだけを責めるのは違うのかなと気づきました。だからこそ防災について考えていきたいなと思いました。2日目に津波警報を聞いて、こんなに怖いんだなと思いました。その場所は安全だよと言われても不安で仕方なくて、海が近かった1日目じゃなくて良かったという気持ちと1日目だったらという気持ち後両方あって、大川小学校についての重みがより感じました。群馬だからと安心せずに起こるかもしれないという気持ちで防災について行動していきたいなと思いました。そして大川小学校は『未来を拓く』場所だということ伝えていきたいです。
- ・自分の記憶にないくらい昔のことも決して他人事ではなく、自分や自分の大切な人に起こりうることなんだということを感じました。
- ・防災の大切さを改めて再確認できた
- ・初めて実際に被災地に行き、映像や書籍では伝わらない生々しい様子を見て、心に響くものがありました。辛くて悲しいことだけど、だからといって蓋をせずに、日本で生きる人間として一人一人が向き合い続けるべきだと感じました。
- ・群馬は海なし県なのであまり津波に関心がなかったけれど、もっと津波の恐ろしさを人々に語り継いで、被災した方々の命を意味あるものにしたいと思いました。
- ・太田市は津波が来ないからと、津波の大変さは感じていたがどこか他人事のように扱っていたなと思ったし、かし今回の研修で遺族に会い、こんなに悲惨なことが現実であると身を沁みて感じました。行ってよかったと思いました。
- ・大川小学校での出来事を悲劇で終わらせず、これからの避難に役立てていかなければならないと感じた。
- ・地震の被害を実際に見ることができて、当時の人々のことを思うと悲しい思いになりますが、この体験ができて良かったと思いました。
- ・生きる命が死ぬ命の違いは本当に小さな違いであることがわかった。避難場所を決めておくだけで助かるはずだった命があったといことも知り、どこか他人事と思っている自然災害に危機感を持って備えることが大事だと改めて感じた。ただ悲惨なことがあったということだけでなく、どうしてそうなったのかこれからはどうすれば良いのか学べるのが沢山あった。実際にその場所は足を運び、関係者の方に話を聞くことで当時の具体的な状況や事情も知ることができ、また自分だったらと考えることで深く考えることができて貴重な機会だった。
- ・ガイドさんの話を聞いて地震や津波の恐ろしさを改めて感じ、未来を拓くという言葉を大切に東日本大震災の出来事を伝えていき、同じことが起こらないように防災意識を高めていく必要があると思いました。
- ・大川小について今までは全く知りませんでしたが、お話を聞いて、事前にしっかり避難場所等を確認しておくことの大切さや、悲劇だけを取り上げるのではなく、未来を拓く学校であることがより周知されたら良いなと思いました。

【東北大学オープンキャンパスに参加して感じたことを記入してください】

- ・自分の目標とする大学を考えるととてもいい機会になり、参加して良かったと思いました。
- ・大学の雰囲気を知ることができてとても楽しかった。自分たちだけで電車を調べて東北大学に行くことができたので良い経験になれたと思う。
- ・都会という感じがあまりなく、自然が多くてでも交通機関はとても発達していてすごく良い所だなと思いました。日本だけでなく世界に向けての活動も活発に行われており、さすが日本トップになりそうなくらいすごい大学なんだと実感しました。
- ・学べることがたくさんある大学に行けるように勉強を頑張ろうと思った
- ・実際に実験をしてリチウム電池を使って楽しかった、話を聞けてためになった
- ・それぞれが目標を持って難易度の高い研究を行っていて、楽しそうだと感じました。
- ・私は、救急医療スキル体験というものに参加してきました。そこでは主に心肺蘇生の方法について学ぶことができました。ひとつは誰でもできる蘇生方法の「胸骨圧迫とAED」です。これは中学校のときに職業体験でやったことがあったのでスムーズにできたと思います。ですがふたつめの人工呼吸器をとりつける、「気管挿管」という主に医者にしかなれない方法が難しかったです。管を気管に直接挿れる、という説明だけ聞くと単純な方法に聞こえますが、食道が近くにあるので少し思い切って挿し込まないと肺ではなく胃に空気を送ってしまいます。緊迫の場面ですぐに、正確に取り付けるのは相当な技術を要すると実感できました。
- ・キャンパスが綺麗でした。経済学部に参加したのですが、模擬授業に体験し、経済学部とは何を学ぶのか根本的なお話をして頂けて東北大に限らず志望する学部選びにとっても参考になりました。
- ・好きなものをとことん突き詰め、研究をして行く大学生の姿が凄くかっこよく、刺激を受けました。自分の研究を笑顔で夢中になって熱心に説明して下さったのでとても理解でき楽しかったです。化学科では実験をして実際に体験することでより興味を惹かれました。
- ・理系と文系の学部プログラムどちらも参加してみて、改めて私は文系の学部に適していると感じた。ただの感覚に過ぎないですが、看護学の模擬授業もとても興味深く勉強になりましたが、私が文学部で参加した日本語教育ワークショップの方が、自分的には心を解放してのびのび楽しめたので、自分自身の適正を確認するいい機会になりました。
- ・すごく広かった。研究施設が整っていて、研究をしたい人にはピッタリな学校だと思った。理学部に必要なことが知れて良かった。
- ・高校とは全く違う雰囲気面白そうだなと思いました。
- ・レベルが高い学校は生徒がおこなっていることも違うということ。
- ・今まで東北大のイメージが湧かなかったから、実際に見て回れて大学へのイメージが湧いた。色んな学部を見れたので、一つの学部しか見れないオープンキャンパスよりも楽しく充実した気がした。
- ・現在自分が志望している学部で本当に大丈夫なのか不安があったので、大学卒業後の進路や入試についての詳しい説明を聞くことができてよかったです。実際に研究室を見たり公開実験に参加したりすることで大学や学部の雰囲気を感ずることができました。
- ・大学は広く、きれいだった。化学科では様々な研究をしていて、自分のやりたいことができる大学だった。数学科は折り紙を使って試してみるなど面白い研究がたくさんあった。学食が安くて美味しかった。
- ・それぞれが好きな勉強や研究をしているんだと分かって楽しそうと思った。理学部と農学部は似ているところがあると聞いたことがあったので今回その違いや似ているところが少しわかったと思う。楽しかった。
- ・学校の雰囲気を生で感じることができ、よかったです。実際に講義に参加することで、自分に合っているかどうかを確かめられたので、オープンキャンパスに参加してよかったです。
- ・東北大学は自分の好きなものについて徹底的に研究できる場所
- ・自習スペースがたくさんあって、勉強に集中できる、自然豊かな大学だと感じた。

- ・文学部日本史学科の研究室訪問に行った時にたくさんの貴重な資料があったことから、大学を検討する上で資料が多いということは重要な判断材料だと思った。
- ・学生さんの発表を聞いたときに、一人ひとり自分の興味のあることに情熱を注いでいた
- ・学生さん達が学校の様子などを詳しく話してくれた。実際に体験できるスペースもあり大学生活が想像できた。
- ・東北大学はとても広いなと思った。先輩達はとても親切で、しっかりとした目標を持っているように感じ、とてもカッコいいなと思った。
- ・まず初めに感じたことはキャンパス自体がとても大きくて、道路を挟んでキャンパスがあるのが新鮮すぎて、その広さに驚きがありませんでした。今回は教育学部の説明だけだったけど、将来についてのことや今必要な学びを丁寧に学べるところで、学ぶための設備が揃っている魅力的な大学でした。学食もおいしくて、マスコットキャラクターの研一がかわいかったです。駅のアクセスも良くてすぐに駆けつけられます。オープンキャンパスに参加してより東北大について知れたし、魅力たくさん感じる事ができてよかったです。
- ・大学で行っている研究などがたくさん見られてとても楽しかった。
- ・大学を考えるきっかけになった
- ・仙台駅のほうは都会でしたが、大学は緑も多くて自然いっぱいの場所だったのでいいなと思いました。実際に大学を訪れることで、写真だけではわからないような雰囲気を感じられた。ただ一人で何も考えずに見学するよりも、OGの方に案内して頂いたおかげもあり、また違う視点でオープンキャンパスに参加できました。自分の進路実現に向けて、貴重な体験ができたと思います。
- ・かなり施設が大きくて、多くのきれいな施設があった。理学部の施設は新しく大規模な施設が多く、専門的な研究も多くある印象がありました。また、学生への支援制度も多くあり、過ごしやすそうだと感じました。
- ・広がった。いろんな研究をしていて面白かった。模擬授業を受けたけど、難しくて全然わからなかった。
- ・いろいろな学部の研究内容や生徒の姿を見て、大学生のイメージを少し持つことができました。敷地が広くて建物も多くあり、研究に没頭できそうだなと思いました。研究内容も興味深いものが多く、勉強のやる気も上がりました。
- ・私立に行きたい気持ちが強まった。
- ・施設がしっかりしていて、薬学部には研究できる場所があり行った学部についてよく学べそうだなと思いました。
- ・教科書で見るような資料が展示されていて、すごいと思った。
- ・キャンパスがとても広くてすごかったです。医学部保健学科のキャンパスでは実習をできたのでとてもためになりました。
- ・大学の模擬講義を初めて受けてみて、どういうことを学ぶのかよくわからなかったがこんな感じだと分かってよかった。どれも興味深い内容で面白かった。参加していた生徒さんの質が良かったと感じた。
- ・オープンキャンパスを1人で回るのが初めてで不安だったけど、色んな大学生が話しかけて学部やサークルのこと以外にも大学について詳しく教えてもらえて、とてもためになったと感じました。
- ・自分が到底行ける学校ではないですが、実際に自習スペースで勉強している学生を見て、私もレベルの高い大学で学びたいという気持ちが強くなりました。

【今回の東北へのツアーを通して感じたことやご意見等を記入してください】

- ・被災地訪問では防災の大切さを学ぶ機会、オープンキャンパスでは自分の将来、目標とする大学を考えたりするととてもいい機会になり、とても良かったです。
- ・自由行動が多かったのでとても良い社会経験を積むことができ、楽しかったです。
- ・今までで1番フリーな時間が多く、計画をたてて自分たちの力で旅することの大変さと楽しさを両方味わえました。東北で名産物を食べたり、お土産を買ったりすることができて本当によかったです。
- ・大切なことをたくさん学べるツアーだった
- ・初めての東北で新鮮だった。ずっと楽しかった！
- ・学部の受付の隣のマップに書かれた生物学科の建物の位置と、実際に生物学科の研究が見れる場所が違って、ちょっと迷ってしまって、難しいと感じた
- ・めは親もおらず、四六時中先生と行動できる訳でも無いので不安でしたが、一人で行動できると自由が増えたり、何か困ったことがあったら自分から周りの人に聞くなど、とにかくアクションを起こすことが重要であると学びを得ました。親から離れて行動することは、なかなか体験できる機会がないので、とても貴重でした。
- ・加してよかったですと心から思いました。オープンキャンパスだけでなく大川小学校に行けたことが人生の中で凄く貴重な経験になったと思うし、人生観が変わります。もちろんオープンキャンパスでも模擬授業を受けて勉強のモチベーションが上がりました。このツアーを通して、もう一度頑張ろうと思えました！！引率の先生方、本当にありがとうございました！凄く楽しかったです
- ・この二日間でたくさんの方が学べました。ツアーに申し込んで良かったなど心の底から感じています。また、自由行動もただ楽しむだけでなく、時間を守って行動する、乗るべき電車に乗る練習になったりしたのでとても勉強になりました。実際に大学等に行くことで勉強へのモチベーションも上がりました。とにかくたくさんの方が学べ楽しかったです。ありがとうございました。
- ・3年生になってもまた行きたいです。お願いいたします。
- ・実際に災害の話を知ることができてとても良い経験だった。東北大学を見て、もっと勉強しようという意欲が上がった。
- ・とても心に残るものになりました。1日目に大川小学校のお話を聞いたあとの2日目の津波警報だったので少し落ち着かなかったけれど災害だけでなく、これからの進路も考えられるツアーでした。
- ・めっちゃ楽しかった。来年も行きたい。
- ・中々仙台に来ることはできないから、仙台で東北大を見たり大川小に行ったり貴重な経験が出来て良かった。その二つ以外のところも自由に見れたので楽しかった。個人的に牛タンが美味しかった。
- ・自由に行動できる時間が多かったのでおいしいものをたくさん食べられて楽しかったです。東北大学でも大川小学校でも貴重な体験ができ、参加したからこそ学べたことがたくさんありました。
- ・良い経験になった。
- ・楽しかった！！自由度が高いのがよかった。自分達でスケジュール組んで行きたいところに行けて充実感が高かった。
- ・全てが自分の判断によって決まるので、1つ1つの行動に責任をもって取り組むことができました。
- ・自由に行動できる時間が多くて、自主性を養えるツアーでした。とても楽しかったです！あまり自分と関わりのなかった津波の怖さを知ることができ、大学での生活について具体的に考えることができました。企画や引率等、ありがとうございました。
- ・大川小学校や東北大学を訪問することで、新たな発見や将来についての考え方などたくさんの学びを得ることができたと感じた。
- ・ルールを守って安全に行動でき、大学を見学したり観光したりできて、本当に楽しかったです！！

- ・自分で電車に乗れるようにならないといけない
- ・東日本大地震のことを風化させてはいけないと改めて思った。実際に東北大学を見ることで勉強を頑張っていきたいという思いが強くなった。
- ・今回の東北ツアーを通して、群馬とは違った自然の美しさや、東日本大震災で大きな影響を受けたからこそ受け継がれる強い思いを感じた。
- ・最初は楽しそうだなとか総合大学ってどんな感じなんだろうという軽い気持ちで参加したけど、1日目の大川小学校についての話やオープンキャンパスなどで学んだことがたくさんあって、やっぱり参加してよかったなと思いました。またこういう機会があったら行ってみたいなと思いました。それに興味を持ったこともたくさんあったし、知識も増えたので参加してよかったです。
- ・オープンキャンパスではいろいろなことを見たり聞いたりすることができて、勉強に対する意欲が湧きました。また、大学だけでなく、大川小学校でお話を聞くことができたので、とても良い経験になったと思いました。
- ・とてもよかったです
- ・先生の案内だけに頼らず、自分たちの力で行動ができたので今後の自分の生活にも役立つと思いました。また、今回は2日目に津波警報が発令されましたが、大川小学校での話を思い出しながら冷静に判断・行動できた点も良かったなと思います。友達と行動しながら、いろんな経験と思い出ができてとにかく楽しかったです。今回の東北ツアーに参加して良かったと思いました。
- ・大勢で行って凄く楽しかったです。大川小学校でお話を聞ける貴重な機会です。なかなか遠く行けない東北まで行く機会を学校で用意してもらえてありがたいです。
- ・被災地に訪れることができて良かった。東北大学は気になっている大学だったので行けて良かった。他の学部も見てみたかった。
- ・様々な初めての体験ができて、貴重な機会になりました。またこういう機会があったらぜひ参加したいです
- ・東日本大震災について考えるよききっかけとなった。家に帰ってからガイドさんに聞かせてもらった話を家族に話しました。これからはずっと忘れないようにしたいです。
- ・初めて被災地に行き夜も自由な行動、キャンパスを移動するなどツアーに参加しないとできない体験ができてよかったです。
- ・2日間楽しく過ごすことができた。
- ・大川小学校見学や東北大キャンパス見学以外にも、牛タンや仙台城跡に行くことができてとても楽しかったです。
- ・太女生を信頼して行動を任せてくれてとても充実した2日間を過ごすことができて良かった。勉強をしないという子達のいる大学には行けない。大川小学校で話を伺った翌日に警報が鳴ってすぐく身近に感じることもできた。
- ・1日目に大川小学校で津波や地震についてのお話を聞いてきたので、2日目のオープンキャンパスでエネルギーや環境の研究所での説明を繋がりを感じながら聞くことができて良かったと思いました。また、仙台は初めて行ったので自分たちが住んでる場所や東京などとはまた違う雰囲気を感じられて楽しかったです！
- ・今回は一人での行動もあり、お金の使い方や公共の場でのマナーを守る意識がより持てたと思います。

【謝辞】今回のツアーを開催するにあたり、ご理解とご支援をいただきました保護者の皆さまに心から感謝いたします。ありがとうございました。あわせて、ご協力いただきました本校の校長、教頭を始め1、2学年、探究部、進路指導部の先生方、そして旅行代理店の担当者様にも心より感謝いたします。ありがとうございました。

東北ツアーも3年目となりました。毎年猛暑の中での開催であり体調面等ではご心配をおかけしています。バス酔いを含め数名の生徒が体調不良となりましたが、休養をとるなどの対応をさせていただき、全員が予定した日程で実施することができました。参加した生徒たちの協力のお陰と思っています。まさに「自律博愛」の精神をもって、主体的かつ思いやりのある行動をしてきていた生徒たちに感謝するとともに、「さすがは太女生」と感じました。引率職員としては本当にしっかりやってくれたので安心して旅行ができました。過酷な暑さや日程であり生徒の負担も大きかったのではと思っています。それでも書いてくれたアンケート結果を読ませていただくと、しっかりとした、いい研修ができたと思っています。

大川小学校では震災の怖さだけでなく、事前の準備や訓練の重要性に加えて、「未来を拓く」心の大切さを学んだ気がします。これからの未来を担う子どもたちが、こうした震災や様々な困難から目をそらさず向き合っ、よりよく生きていって欲しいと願っています。これからも語り継がれていって欲しいです。

翌日の7月30日には、8時25分頃のカムチャツカ半島付近の地震にともない津波警報が発表されました。携帯電話の緊急速報の音で気づいた生徒も多かったようです。多くの生徒は高台にある東北大学にいたようですが、念のため全生徒に対して安全確認をおこない保護者へ連絡するようお願いをしました。その後大学からもHPにて、学内は安全であることとオープンキャンパスの継続が発表になりました。前日での大川小学校での研修もあり、生徒たちは落ち着いて行動できていたと感じました。

指定国立大学である東北大学のオープンキャンパスでは、直接大学の施設や研究に触れ、今後の進路についてより深く考えることができるようになったと思っています。

今回の経験を通して、生徒たちはまた一歩成長してくれたと確信しています。これからも生徒たちの健全育成と学力向上に尽力していきます。今後とも関係各皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。ありがとうございました。

担当職員一同